

立野電気工事㈱ 環境行動計画

取組方針

立野電気工事株式会社は、当社の経営理念である『信頼・協調・努力』をモットーに、顧客ニーズにあった電気工事業をしています。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全への取り組みも重要課題の一つであることを認識し、地球環境へ与える影響に配慮し、環境負荷の削減をはじめとする環境保全活動に積極的に取り組み、持続可能な発展、循環型社会を目指す企業として、以下の取り組みを社員一丸となって推進します。

1. 事業活動に伴う環境負荷の削減及び環境汚染の予防に努めます。
 - (1)省エネ・省資源を推進し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - (2)廃棄物の適正管理を行い、排出量の削減、リサイクルの推進に努めます。
2. 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)に努めます。
3. 社員の環境教育に努めます。

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 25 年 1 月 22 日

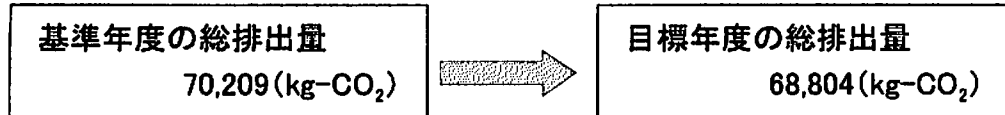
立野電気工事株式会社

代表取締役 米澤 直明

3. 環境負荷の低減目標

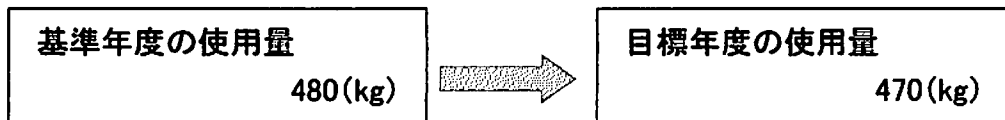
25 年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 23 年度です。)

【目標1】二酸化炭素の総排出量を 2%削減する。



【目標2】廃棄物の削減とリサイクルの推進に努める。

【目標3】コピー用紙使用量を 2%削減する。



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】二酸化炭素総排出量の削減

(事務所での取組)

- ① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ② 電球型蛍光灯等を導入し、照明器具の省エネ化を図る。
- ③ 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。

(車両での取組)

- ① エコドライブに取り組む。(アイドリングストップ、ふんわりアクセル)
- ② 車両の点検を定期的に行う。
- ③ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ④ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。
- ⑤ 現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する。

【取組2】廃棄物排出量の削減

- ① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。
- ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。
- ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ④ 使用済みの段ボール、梱包材、荷造りひもを分別する。
- ⑤ 紙のリサイクルに努める。

【取組3】コピー用紙使用量の削減

- ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ③ 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。

- ④ 電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。
- ⑤ コピーをする場合は、その必要性を十分考える。

5. 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、1年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。